

交通安全運動推進費

直轄事業

実施目的

交通安全運動を始めとした各種啓発行事を行い、県民の交通安全意識の高揚を図る。

実施場所

対象者

県民一般

開始年度

昭和44年

予算

6224 千円

実施内容

四季（春・秋の全国交通安全運動、夏・年末の交通安全県民運動）の交通安全運動、交通安全月間（自転車の安全利用・ヘルメット着用推進月間、シートベルト・チャイルドシート着用強調月間）において、啓発リーフレット、ポスター等を作成し、県民に対して周知を図るもの。

URL

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/2420.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

安全運転サポート車普及事業

直轄事業

実施目的

安全運転サポート車の普及につながる啓発活動を実施し、併せて、運転免許の自主返納を広報し、高齢運転者による交通事故防止を図る。

実施場所 商業施設等

対象者 高齢者

開始年度 令和元年

予算 6224 千円

実施内容

県、市町村、県警察等が連携し、交通安全イベント等の機会を利用して、高齢者に対して、安全運転サポート車の試乗会を行うとともに、併せて、運転免許証の自主返納を広報する。

URL

高齢者世帯訪問事業

直轄事業

実施目的

地域のボランティア団体等が高齢者に面接して、交通安全啓発等を行い、高齢者が関わる交通事故や犯罪被害を防止する。

実施場所 高齢者宅

対象者 高齢者

開始年度 平成10年

予算 6224 千円

実施内容

市町村と連携し、各地域の訪問指導員（交通安全女性、交通指導員、民生委員、交通安全協会会員等）が高齢者世帯を訪問し、啓発活動や注意喚起を行う。

事業終了後、実施市町村は県に対して実施報告書を提出する。

URL

シートベルト体験事業

高齢者

こども

中高生

チャイルドシート
シートベルト啓発
運動

調査研究

市民参加

自転車等

反
射
材飲酒
運転
根絶

そのほか

直轄事業

実施目的

シートベルト着用効果体験車を使用し、交通事故発生時のシートベルト着用による被害防止や軽減効果を周知する。

実施場所 県内小学校等

対象者 小学生、幼児及び保護者

開始年度 平成24年

予算 6224 千円

実施内容

日本自動車連盟岐阜支部（JAF岐阜支部）の協力を得て、県内の小学校、幼稚園、こども園等において、シートベルト着用効果体験車を使用した交通安全教室を開催。

幼児対象の体験では、保護者を対象としたチャイルドシートの正しい使用方法等に関する講習も実施する。

URL

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/555.html>

(小学生対象)

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/12953.html>

(幼児等対象)

自転車の安全適正利用促進事業

直轄事業

実施目的

自転車事故が多く、ヘルメット着用率の低い高校生の交通安全意識を向上させ、自転車の安全利用を図るための各種施策を実施する。

実施場所 各高等学校

対象者 高校生

開始年度 令和7年

予算 2500 千円

実施内容

自転車の安全運転に対する意識向上とヘルメット着用の重要性を理解してもらうことを目的に、高校生を対象とした交通安全教室（スケアード・ストレイト）を開催する。

ヘル着運動実施校を任命し、高校生自らが校内等で啓発活動を行うことにより、自転車ヘルメット着用を促進するとともに、交通安全意識の向上を図る。

URL

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/18519.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反教材

飲酒運転根絶

その他

交通事故防止対策委員会

直轄事業

実施目的

交通事故多発場所や重大事故発生場所において、有識者・県警察・道路管理者等が現地調査、分析、検討を行い、必要な交通事故防止対策を図る。

実施場所 交通事故多発場所等

対象者

開始年度 平成2年

予算

195 千円

実施内容

関係機関の交通安全担当者等が現地に赴き、事故原因の調査・分析等を行い、必要な対策案を策定する。

対策案は委員会に提案され、決定した対策について関係機関が必要な措置を講じる。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

VRゴーグルを活用した出前講座

直轄事業

実施目的

幅広い年齢層に対して、自転車利用時の交通安全意識の向上を図る。

実施場所 県内各所^(※1)

対象者 県民一般

開始年度 令和8年

予算 2882 千円

実施内容

交通安全教室や啓発活動において、VRゴーグルを活用し、自転車利用者をはじめ、自動車運転者など幅広い世代の道路利用者に対して、参加・体験・実践型の出前講座を実施する。

市町村、学校、企業、老人クラブ等からの申し込みを受けて実施する。

(※1) 小中高学校、老人クラブ、自治会等で実施。

URL

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/12942.html>

交通遺児激励金

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
ヘルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

実施目的

交通事故で親等を亡くした遺児に対して、激励金を支給し、健やかでたくましく成長し、勉学等に励むことができるように激励する。

実施場所

対象者

交通遺児（※1）

開始年度

昭和44年

予算

1590 千円

実施内容

親等を亡くした高校生以下の交通遺児に対して、

乳幼児、小学生 20,000円

中学生 25,000円

高校生 30,000円

を支給する。

県又は市町村への申し込みを受けて、要件に該当する交通遺児に対して、5月5日の「こどもの日」を基準として激励金を支給する。

（※1）幼児、小中学生、高校生（20歳未満）を対象とする。

URL

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/563.html>